



セコム社の事業拡大の歴史

アンゾフの成長ベクトルによって分析

	事業内容	事業の選択と集中、撤退 【アンゾフの成長ベクトル】
1962年	二人で創業。東京オリンピックの選手村などの警備を受注。	
1960年代	1964年東京オリンピックの 人的警備 を担当。宇津井健主演のTV「ザ・ガードマン」がヒット(1965年4月～1971年12月)。	企業施設の安全を人的警備
1966年	電子警備 「SPアラーム」を開発。	
1970年	大阪万博を無事故で警備。	
1970年	東京・晴海に本格的な中央管制センターを開設。併せて全国18カ所に管制センターを新增設、「SPアラーム」拡大体制を整備する。	企業施設の安全を電子警備 【新製品開発】
1971年	急成長していた人による巡回警備を廃止。 一挙に売上が3割減少 。	人的警備を廃止
1974年	オンライン安全システムを拡大。大規模施設や銀行CDの安全管理。	企業の安全対策を拡大
1981年	家庭用安全オンライン 「マイアラーム」を開発。	家庭の電子警備【市場開拓】
1984年	第二電電(KDDIの前身)を設立。日本最大のコンピュータネットワーク。	
1985年	「セコムネット」を分離独立。日本コンピュータセキュリティを設立。	
1988年	ホームセキュリティ ショップ。米病院の救急医療部門を買収。	ホームセキュリティ【市場開拓】
1992年～	長嶋茂雄のTVコマーシャル「セコムしてますか」が流れる。	
1991年 1998年 2006年	社会システム産業分野 を次々と開拓し拡大。 在宅医療サービスの開始 保険事業 防災事業	企業・家庭から社会へ ①警備、②セキュリティ、 ③医療、④保険 ⑤防災【多角化】
2013年～	長嶋茂雄の「セコムしてますか」で、セコム・ホームセキュリティの評判を公園で、病院で、そして喫茶店で。	